学校法人ティビィシィ学院

国際情報ビジネス専門学校

様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ﾓﾊﾞｲﾙｱﾌﾟﾘｸﾘｴｲﾀｰ	夜･通信	960 単位時間	160 単位時間	
	ｹﾞｰﾑｱﾌﾟﾘｸﾘｴｲﾀｰ	夜･通信	540 単位時間	160 単位時間	
	情報処理（２年制）	夜･通信	900 単位時間	160 単位時間	
	情報処理（３年制）	夜･通信	1,650 単位時間	240 単位時間	
	情報処理（４年制）	夜･通信	2,580 単位時間	320 単位時間	
	ＡＩエンジニア	夜･通信	960 単位時間	160 単位時間	
商業実務専門課程	総合ビジネス	夜･通信	810 単位時間	160 単位時間	
	トラベルホテル	夜･通信	1,680 単位時間	160 単位時間	
	国際ﾎﾃﾙ観光ｻｰﾋﾞｽ	夜･通信	2,100 単位時間	160 単位時間	
	国際ITﾋﾞｼﾞﾈｽ(1.5年制)	夜･通信	130 単位時間	120 単位時間	
	国際ITﾋﾞｼﾞﾈｽ(2年制)	夜･通信	180 単位時間	160 単位時間	
	国際ITﾋﾞｼﾞﾈｽ(3年制)	夜･通信	360 単位時間	240 単位時間	
	国際ITﾋﾞｼﾞﾈｽ(4年制)	夜･通信	360 単位時間	320 単位時間	
文化・教養専門課程	デジタルクリエイター	夜･通信	1,230 単位時間	160 単位時間	
	ｅスポーツ	夜･通信	600 単位時間	160 単位時間	
	公務員総合	夜･通信	220 単位時間	160 単位時間	
	公務員	夜･通信	92 単位時間	80 単位時間	
（備考）　日本語学科については、外国人留学生対象学科のため除外					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.tbc-u.ac.jp/information.html

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	学校法人ティビィシィ学院
設置者名	理事長　齋藤　武士

１．理事（役員）名簿の公表方法

学院ホームページにて公開 https://www.tbc-gakuin.jp

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	令和３年５月29日～令和５年５月28日	教職員の勤怠管理
非常勤	会社代表取締役	令和３年５月29日～令和５年５月28日	校外学習の企画･運営
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 毎年実施される「教育課程編成委員会」の意見を取り入れ、各学科とも実業界の求める人材を育成するために必要な授業科目及び学ぶべき内容を検討している。 教育課程編成委員会の内容を考慮し、学科担当者を中心に作成した素案を、教職員会議にて検討し授業計画を決定する。 教職員会議では教育課程編成委員会の内容が反映されているか、学習内容が教育目標に照らして妥当であるかを判断する。 教職員会議での決定後、４月の授業開始までに公表する。
授業計画書の公表方法　受付に常設して閲覧できるようにする。
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 各学期に定期試験に作品課題、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格） （Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満） 基本的に定期試験等の学内試験及び資格試験の結果に、一定割合の平常点（授業状況・出席状況）を加味して成績評価の基準となる素点とする。 また、実習科目については実習評価表により評価基準を算出、作品等の製作課題についても一定の評価基準により評価する。 なお、出席時間数が不足している場合又は提出が義務付けられている課題が提出されない場合には、評価の対象としない。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 半期ごとに成績評価を行い、通年の科目については年度末に再評価する。成績評価の基準となる素点により、各学科で科目ごとの成績分布及び成績順位を行い、学習指導に役立てる。 また、各科目の平均点をもって順位付けを行い成績に分布状況を把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	受付に常設して閲覧できるようにする。
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 以下のすべての要件を満たすことを卒業・進級の条件とする １）　成績評価がすべてＣ以上 ２）　指定された定期試験に合格すること（一部の学科） ３）　基準検定を取得すること ４）　出席率 90％以上 ５）　各科目別に 70％以上の出課率及び授業全体の 80％以上の出課率 ６）　学費等納入金の完納 ７）　各学科指定された研修に参加すること	
卒業の認定に関する方針の公表方法	受付に常設して閲覧できるようにする。

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	学校法人ティビィシィ学院
設置者名	理事長　齋藤　武士

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tbc-gakuin.jp
収支計算書又は損益計算書	https://www.tbc-gakuin.jp
財産目録	https://www.tbc-gakuin.jp
事業報告書	https://www.tbc-gakuin.jp
監事による監査報告（書）	https://www.tbc-gakuin.jp

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	ﾓﾊﾞｲﾙｱﾌﾟﾘｸﾘｴｲﾀｰ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，７７０単位時間	420 単位時間	390 単位時間	1,200 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			２，０１０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	１５人	１人	１人	２人	３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） JAVA 言語や IT の知識を学び、AndroidStudio 等の開発環境を使ってモバイル用のアプリケーションを開発・公開することで IT 技術者としてのスキルを習得する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学期に定期試験に作品課題、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価 （評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格） （Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）
卒業・進級の認定基準
（概要） ①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％　⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上　⑥学費等の完納

学修支援等
（概要） 補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１２人 (100%)	０人 (　　0%)	６人 (　　50%)	６人 (　　50%)
（主な就職、業界等） 情報処理業界（プログラマ・システム運用職・ネットワークエンジニア）			
（就職指導内容） 校内における業界企業説明会を実施・担任制による個別就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） IT パスポート・Oracle 認定 Java SE・情報セキュリティマネジメント			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２８人	１人	１７．３％
（中途退学の主な理由） 病気療養・学習意欲低下・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校生活改善のため個別面談を随時実施している。 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	ｹﾞｰﾑｱﾌﾟﾘｸﾘｴｲﾀｰ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，７１０単位時間	420 単位時間	1,320 単位時間	90 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			１，８３０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	１３人	０人	１人	２人	３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
プログラミングを基礎から学習し、Unity や AndroidStudio 等環境を利用してのゲームやアプリケーションの開発を通じ、クリエイターとして求められるスキルを習得する。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に作品課題、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人（－％）	０人（　－％）	０人（　－％）	０人（　－％）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）
校内における業界企業説明会を実施・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
令和３年度在籍なし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
（中途退学の主な理由） 令和４年４月生より新設		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校生活改善のため個別面談を随時実施している。 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	情報処理	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，９２０単位時間	705 単位時間	795 単位時間	420 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			１，９２０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	６１人	０人	４人	１人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
情報処理国家試験に対応する授業を必要に応じて、演習や実習を展開している。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に模擬試験、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
学習到達度による補習教育

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
９人（100％）	０人（0％）	９人（100％）	０人（ 0％）

（主な就職、業界等）
情報処理業界（プログラマ・システム開発・システム運用職）

（就職指導内容）
校内における業界企業説明会を実施・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
基本情報処理技術者・応用情報処理技術者・Oracle 認定 Java SE

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
４６人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	情報処理	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	２，８８０単位時間	720 単位時間	990 単位時間	1,170 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			２，８８０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
３０人	２人	０人	４人	１人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
情報処理国家試験に対応する授業を必要に応じて、演習や実習を展開している。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に模擬試験、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価（評価はA～Dの４段階でDは不合格）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてC以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率90％ ⑤授業科目別の出科率70％以上、総出科率80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
学習到達度による補習教育

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人（100%）	０人（100%）	０人（ 0%）	０人（ 0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	情報処理		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
４年	昼	３，８１０単位時間	720 単位時間	990 単位時間	2,100 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			３，８１０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	１７人	０人	４人	１人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
情報処理国家試験に対応する授業を必要に応じて、演習や実習を展開している。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に模擬試験、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価（評価はA～Dの４段階でDは不合格）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてC以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率90％ ⑤授業科目別の出科率70％以上、総出科率80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
学習到達度による補習教育

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１０人（100%）	０人（　　%）	１０人（100%）	０人（　　%）

（主な就職、業界等）
情報処理業界（システム開発・ネットワークエンジニア）

（就職指導内容）
校内における業界企業説明会を実施・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
応用情報技術者試験・情報処理安全確保支援士・データーベーススペシャリスト

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２１人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	AI エンジニア	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，８００単位時間	735 単位時間	435 単位時間	810 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			１，９８０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	８人	０人	１人	１人	２人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
１年次は資格取得に、２年次は AI、機械学習の技術習得を目標に講義・演習・実習を通し、職業人として必要なスキルを学ぶ

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人（ 0%）	０人（ 0%）	０人（ 0%）	０人（ 0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
令和３年度在籍なし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
０人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	総合ビジネス	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1,380 単位時間	840 単位時間	330 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	１，８３０単位時間	２，５５０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	２９人	２人	２人	３人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
資格取得を目標としながら、職業人として必要なスキルを習得する。各コースごとに検定スケジュールに合わせて、講義・演習・実技を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１０人（100％）	０人（0％）	９人（90％）	０人（ 10％）

（主な就職、業界等）
会計事務所・一般企業

（就職指導内容）
個々の目標にあった就職支援をしている。

（主な学修成果（資格・検定等））
簿記検定・販売士検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１７人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個々の理解度に合わせながら学習を進める。 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	トラベルホテル	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1,460 単位時間	550 単位時間	330 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	１，８９０単位時間	２，３４０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	６人	１人	１人	３人	４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
国内旅行業務取扱管理者及び総合旅行業務取扱管理者の取得を目指すとともに、インターンシップや校外実習を通して観光産業に必要な能力を身につける。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
授業時間外の補習教育・チューター制度の導入

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１１人 (100%)	０人 (%)	９人 (81.8%)	２人 (18.2%)

（主な就職、業界等）
観光産業（ホテル・旅行代理店・空港職員）

（就職指導内容）
インターンシップ制度の導入・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
国内旅行業務取扱管理者・総合旅行業務取扱管理者

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１４人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	国際ﾎﾃﾙ観光ｻｰﾋﾞｽ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，８３０単位時間	990 単位時間	930 単位時間	450 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			２，３７０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	５人	０人	１人	３人	４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
国内旅行業務取扱管理者の取得とホテル分野の国家資格等の複数合格を目指すとともに、語学学習を重視することで、観光産業でグローバルに活躍できる能力を身に付ける。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
授業時間外の補習教育・チューター制度の導入

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
人（－％）	人（－％）	人（－％）	人（－％）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）
インターンシップ制度の導入・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
令和３年度在学生なし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	国際 IT ビジネス		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1.5年	昼	１，２４５単位時間	985 単位時間	260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			１，２４５単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２６０人	４人	４人	３人	１０人	１３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
ビジネス分野・IT・語学に特化した科目を学習しグローバルな人材を育成する。
前・後期制であるが、１年を通じて授業展開している。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべて C 以上 ②定期試験の合格 ③各学年の進級・卒業条件を満たすこと ④出席率 90% ⑤授業科目別の出科率 70%以上、総出科率 80%以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
なし

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
２人（100%）	２人（ 100%）	０人（ 0%）	０人（0%）

（主な就職、業界等）
－

（就職指導内容）
企業ガイダンスへの積極的参加・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
簿記検定・計算実務検定・英語検定・日本語検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３人	１人	３３．３％
（中途退学の主な理由） 帰国		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の生活面での支援、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	国際 IT ビジネス	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1,350 単位時間	360 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	１，７１０単位時間	１，７１０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２６０人	１０６人	１０６人	３人	１０人	１３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
ビジネス分野・IT・語学に特化した科目を学習しグローバルな人材を育成する。
前・後期制であるが、１年を通じて授業展開している。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべて C 以上 ②定期試験の合格 ③各学年の進級・卒業条件を満たすこと ④出席率 90% ⑤授業科目別の出科率 70%以上、総出科率 80%以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
なし

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１３２人 (100%)	５人 (2.8%)	５４人 (33.4%)	７３人 (63.8%)

（主な就職、業界等）
ホテル系・流通系業界

（就職指導内容）
企業ガイダンスへの積極的参加・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
簿記検定・計算実務検定・英語検定・日本語検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２１４人	１３人	６．０％
（中途退学の主な理由） 帰国・VISA 更新不許可・進学		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の生活面での支援、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	国際 IT ビジネス	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1,710 単位時間	0 単位時間	855 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
３年	昼	２，５６５単位時間	２，５６５単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１０人	０人	０人	３人	１０人	１３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
ビジネス分野・IT・語学に特化した科目を学習しグローバルな人材を育成する。
前・後期制であるが、１年を通じて授業展開している。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべて C 以上 ②定期試験の合格 ③各学年の進級・卒業条件を満たすこと ④出席率 90% ⑤授業科目別の出科率 70%以上、総出科率 80%以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
なし

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人（100%）	０人（ 0%）	０人（ 0%）	０人（ 0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
令和２年度在籍者なし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
０人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の生活面での支援、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	国際 IT ビジネス		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1,890 単位時間	1,530 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
４年	昼	３，４２０単位時間	３，４２０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１０人	７人	７人	３人	１０人	１３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
ビジネス分野・IT・語学に特化した科目を学習しグローバルな人材を育成する。
前・後期制であるが、１年を通じて授業展開している。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべて C 以上 ②定期試験の合格 ③各学年の進級・卒業条件を満たすこと ④出席率 90% ⑤授業科目別の出科率 70%以上、総出科率 80%以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
なし

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人（100%）	０人（ 0%）	０人（ 0%）	０人（ 0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
令和３年度卒業者なし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
４人	１人	２５．０％
（中途退学の主な理由） 就職（就労ビザ変更）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の生活面での支援、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	デジタルクリエイター	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			270 単位時間	2,160 単位時間	90 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	１，８００単位時間	２，５２０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６０人	４７人	０人	２人	７人	９人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
業界基準の機材を使用した実践的な技術の習得を目指す。またeラーニング教材を活用した反復学習により各個人の進捗に合わせた学習をおこなう。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に提出課題、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価（評価はA～Dの４段階でDは不合格）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてC以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率90％ ⑤授業科目別の出科率70％以上、総出科率80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施、校内実習施設の常時開放(授業使用時間外)

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１４人（100％）	５人（ 36％）	７人（36％）	２人（ 28％）

（主な就職、業界等）
ゲーム業界・デザイン業界・一般企業

（就職指導内容）
担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
色彩検定・CGクリエイター検定・Illustrator検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
４７人	２人	４．２％
（中途退学の主な理由） 学校不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	eスポーツ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			420 単位時間	1,320 単位時間	90 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	１，８３０単位時間	１，８３０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	３２人	０人	２人	３人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） プロゲーマーの育成及びｅスポーツ業界を支える人材として必要な、知識・技術・マナーを習得する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学期に定期試験に提出課題、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価（評価はA～Dの４段階でDは不合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） ①通年の成績がすべてC以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率90％ ⑤授業科目別の出科率70％以上、総出科率80％以上 ⑥学費等の完納
学修支援等
（概要） 補習授業などを実施、校内実習施設の常時開放(授業使用時間外)

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）	人 （　　％）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和３年度卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
８人	１人	１３％
（中途退学の主な理由） 学校不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	公務員(1年)		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			431 単位時間	563 単位時間	192 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
１年	昼	１，１２０単位時間	１，１８６単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
３０人	４人	０人	２人	４人	６人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
基礎学力向上を基本とし、公務員１次試験合格に必要な学力を身につける

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
担任面談等を通じて個々の学習状況を確認し指導している

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
７人 (100%)	０人 (16.7%)	５人 (83.3%)	２人 (0%)

（主な就職、業界等）
公務員

（就職指導内容）
インターンシップ制度の導入・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
ビジネス実務マナー検定・講道館柔道初段

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
９人	１人	１４．２％
（中途退学の主な理由） 公務員合格退学		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	公務員総合	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			912 単位時間	1,004 単位時間	350 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	２，１３６単位時間	２，２６６単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６０人	２０人	０人	２人	４人	６人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
基礎学力向上を基本とし、公務員１次試験合格に必要な学力を身につける

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はA～Dの４段階でDは不合格）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてC以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率90％ ⑤授業科目別の出科率70％以上、総出科率80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
担任面談等を通じて個々の学習状況を確認し指導している

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１１人 (100%)	０人 (0%)	９人 (25%)	２人 (75%)

（主な就職、業界等）
公務員

（就職指導内容）
インターンシップ制度の導入・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
ビジネス実務マナー検定・講道館柔道初段

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１９人	１人	５．２％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
ﾓﾊﾞｲﾙｱﾌﾟﾘｸﾘｴｲﾀｰ	100,000 円	600,000 円	270,000 円	施設設備費
ｹﾞｰﾑｱﾌﾟﾘｸﾘｴｲﾀｰ	100,000 円	600,000 円	270,000 円	施設設備費
情報処理	100,000 円	600,000 円	270,000 円	施設設備費
AI エンジニア	100,000 円	600,000 円	270,000 円	施設設備費
総合ビジネス	100,000 円	600,000 円	270,000 円	施設設備費
経理	100,000 円	600,000 円	270,000 円	施設設備費
トラベルホテル	100,000 円	600,000 円	220,000 円	施設設備費
国際 IT ビジネス	100,000 円	600,000 円	230,000 円	施設設備費
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｸﾘｴｲﾀｰ	100,000 円	600,000 円	230,000 円	施設設備費
公務員総合	100,000 円	600,000 円	240,000 円	施設設備費
公務員(1 年)	100,000 円	600,000 円	240,000 円	施設設備費
	修学支援（任意記載事項）			
	特待生奨学金・家族割引奨学金・家賃支援・駐車場支援他			

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.tbc-u.ac.jp/information.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
○調査項目：教育理念・目標、学校運営、教育活動、学習成果、学習支援、教育環境、学生の受入募集、財務、法令の遵守、社会貢献・地域貢献 ○委員会の構成：PTA、卒業生、町内会、関係施設、業界団体の分野から１名以上を専任 ○評価結果の活用：学校関係者評価委員会の前にあらかじめ自己評価を実施して各委員に配布し意見を集約。学校関係者評価委員会にて、自己評価と集約した意見に対しての改善方策を評価する		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社マーケットネットワーク 専務取締役	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	卒業生
寺町自治会　会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	町内会
みのりの会（PTA 保護者会） 会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	ＰＴＡ
一般社団法人栃木県情報サービス産業協会　理事	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
株式会社ティビィシィ・スキヤット　部長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体

バップエンタープライズ有限会社 代表	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
e スポーツとちぎ 代表	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
栃木県よろず支援拠点 コーディネーター	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
宇都宮商工会議所 中小企業相談所長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
株式会社ティビィシィ・スキヤツト　課長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
栃木県防衛協会　副会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
北関東綜合警備保障株式会社 人事次長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
宇都宮観光コンベンション協会 事務局長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
株式会社国際ツーリストサロン 代表取締役	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
宇都宮市立保育園協会　会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
社会福祉法人　白百合会 しらゆり幼児園	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
社会福祉法人　みゆきの杜 理事長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
栃木県介護福祉士会　理事	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
医療法人　健真会 大島内科小児科医院　事務局長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.tbc-u.ac.jp/information.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H109310000391
学校名	国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内訳	第Ⅰ区分	19人	24人	
	第Ⅱ区分	14人	15人	
	第Ⅲ区分	14人	12人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				51人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

学校法人ティビィシィ学院

国際看護介護保育専門学校

様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	国際看護介護保育専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護	夜・通信	2,760 単位時間	240 単位時間	
商業実務専門課程	医療事務	夜・通信	1,666 単位時間	160 単位時間	
教育社会福祉専門課程	介護福祉	夜・通信	2,106 単位時間	160 単位時間	
	福祉総合	夜・通信	1,770 単位時間	160 単位時間	
	こども	夜・通信	2,280 単位時間	240 単位時間	
	こども保育	夜・通信	1,540 単位時間	160 単位時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.tbc-u.ac.jp/information.html

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	学校法人ティビィシィ学院
設置者名	理事長　齋藤　武士

１．理事（役員）名簿の公表方法

学院ホームページにて公開 https://www.tbc-gakuin.jp

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	令和３年５月29日～令和５年５月28日	教職員の勤怠管理
非常勤	会社代表取締役	令和３年５月29日～令和５年５月28日	校外学習の企画･運営
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際看護介護保育専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

毎年実施される「教育課程編成委員会」の意見を取り入れ、各学科とも実業界の求める人材を育成するために必要な授業科目及び学ぶべき内容を検討している。

教育課程編成委員会の内容を考慮し、学科担当者を中心に作成した素案を、教職員会議にて検討し授業計画を決定する。

教職員会議では教育課程編成委員会の内容が反映されているか、学習内容が教育目標に照らして妥当であるかを判断する。

教職員会議での決定後、４月の授業開始までに公表する。

授業計画書の公表方法	受付に常設して閲覧できるようにする。

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

各学期に定期試験に作品課題、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）

（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

基本的に定期試験等の学内試験及び資格試験の結果に、一定割合の平常点（授業状況・出席状況）を加味して成績評価の基準となる素点とする。

また、実習科目については実習評価表により評価基準を算出、作品等の製作課題についても一定の評価基準により評価する。

なお、出席時間数が不足している場合又は提出が義務付けられている課題が提出されない場合には、評価の対象としない。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 半期ごとに成績評価を行い、通年の科目については年度末に再評価する。 成績評価の基準となる素点により、各学科で科目ごとの成績分布及び成績順位を行い、学習指導に役立てる。 また、各科目の平均点をもって順位付けを行い成績に分布状況を把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	受付に常設して閲覧できるようにする。
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 以下のすべての要件を満たすことを卒業・進級の条件とする １）　成績評価がすべてＣ以上 ２）　指定された定期試験に合格すること（一部の学科） ３）　基準検定を取得すること ４）　出席率 90％以上 ５）　各科目別に 70％以上の出課率及び授業全体の 80％以上の出課率 ６）　学費等納入金の完納 ７）　各学科指定された研修に参加すること	
卒業の認定に関する方針の公表方法	受付に常設して閲覧できるようにする。

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	学校法人ティビィシィ学院
設置者名	理事長　齋藤　武士

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tbc-gakuin.jp
収支計算書又は損益計算書	https://www.tbc-gakuin.jp
財産目録	https://www.tbc-gakuin.jp
事業報告書	https://www.tbc-gakuin.jp
監事による監査報告（書）	https://www.tbc-gakuin.jp

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療		専門課程	看護学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	３，０９０単位時間	2,278 単位時間	92 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			３，２７０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	１０６人	０人	１０人	４３人	５３人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教科目を基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ・Ⅱ、統合分野に分け、講義、演習、臨地実習を実施し、看護専門職としての知識・技術・態度を養う
成績評価の基準・方法
（概要） 各学期に定期試験に授業状況、出席状況、レポート課題等、加味して評価。実習科目については実習評価表にて評価(評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格) （Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）
卒業・進級の認定基準
（概要） ①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③出席率 90％　④授業科目別の３分の２以上の、⑤学費等の完納
学修支援等
（概要） 授業時間外の実習室の開放・受験対策に関する個別指導

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１６人 （100%）	０人 （　0%）	１６人 （100%）	０人 （0%）
（主な就職、業界等） 病院・医院・診療所			
（就職指導内容） 校内において病院説明会を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
８３人	４人	４．８%
（中途退学の主な理由） 学業不振・進路変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	医療事務	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			2,108 単位時間	226 単位時間	170 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	１，９９４単位時間	２，５０４単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
８０人	４７人	０人	２人	７人	９人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
医療事務員として必要な知識・技術を習得すべく、資格取得に向けて講義を中心としながら受験対策演習を行う

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価
（評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格）
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
９人（100％）	０人（ 0％）	９人（100％）	０人（0％）

（主な就職、業界等）
病院・調剤薬局・ドラックストア

（就職指導内容）
インターンシップ制度を導入・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
医療事務検定・秘書検定・登録販売者

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３１人	１人	３．２％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育社会福祉	専門課程	介護福祉	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1,185 単位時間	525 単位時間	546 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	２，２５６単位時間	２，２５６単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	３７人	０人	４人	１１人	１５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
介護福祉士養成カリキュラムに基づき、教科目を人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケアに分け講義・演習・実習を行い、介護職従事者としての知識と技術を習得する

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に作品課題、授業状況、出席状況、加味して評価。実習科目については実習評価表にて評価(評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格)
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１２人（100％）	０人（100％）	１２人（ 100％）	０人（ 0％）

（主な就職、業界等）
介護施設・社会福祉施設

（就職指導内容）
校内における業界企業説明会を実施・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
介護福祉士

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３５人	３人	８．５％
（中途退学の主な理由） 学校不適応・所在不明		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育社会福祉	専門課程	福祉総合	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１，９８０単位時間	1,194 単位時間	866 単位時間	100 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			２，１６０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
６０人	１１人	０人	２人	２人	４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
介護職員初任者研修の修了とあわせて介護に関連する様々な資格が取得できるように実習と講義を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験又はレポート課題、授業状況、出席状況、資格取得状況を加味して評価(評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格)
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１１人 (100%)	０人 (%)	１０人 (91%)	１人 (9%)

（主な就職、業界等）
介護福祉施設

（就職指導内容）
個々の目標に合わせた就職活動ができるよう、担任制による個別就職指導を随時実施

（主な学修成果（資格・検定等））
介護職員初任者研修・レクリエーションインストラクター

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１７人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育社会福祉	専門課程	こども	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	２，７６２単位時間	800 単位時間	1,408 単位時間	554 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			２，７６２単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	８７人	０人	５人	１５人	２０人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
３年間、豊富な演習・実習を通して幼児教育者として必要な幅広い知識・技術を身につけた実践者を育成する

成績評価の基準・方法

（概要）
各学期に定期試験に作品課題、授業状況、出席状況、加味して評価。実習科目については実習評価表にて評価(評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格)
（Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）

卒業・進級の認定基準

（概要）
①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％ ⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上 ⑥学費等の完納

学修支援等

（概要）
補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
２６人（100％）	０人（ 0％）	２６人（100％）	０人（0％）

（主な就職、業界等）
幼稚園・保育園・認定こども園

（就職指導内容）
業界主催の就職ガイダンスに参加・担任制による個別就職指導

（主な学修成果（資格・検定等））
幼稚園教諭・保育士・チャイルドボディセラピスト・幼児体育指導者検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
７８人	２人	２．５％
（中途退学の主な理由） 学習意欲低下・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育社会福祉	専門実務	こども保育	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1,050 単位時間	615 単位時間	430 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
２年	昼	２，０９５単位時間	２，０９５単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	３６人	０人	５人	１５人	２０人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ２年間で保育士・幼稚園教諭に必要な知識・技術を身につけ、保育現場における即戦力となる人材育成を目指す
成績評価の基準・方法
（概要） 各学期に定期試験に作品課題、授業状況、出席状況、加味して評価。実習科目については実習評価表にて評価(評価はＡ～Ｄの４段階でＤは不合格) （Ａ：100 点～80 点・Ｂ：79 点～70 点・Ｃ：69 点～60 点・Ｄ：60 点未満）
卒業・進級の認定基準
（概要） ①通年の成績がすべてＣ以上 ②定期試験の合格 ③基準検定試験の取得 ④出席率 90％　⑤授業科目別の出科率 70％以上、総出科率 80％以上　⑥学費等の完納
学修支援等
（概要） 補習授業などを実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
９人 （100％）	０人 （　　％）	８人 （88.9％）	１人 （11.1％）
（主な就職、業界等） 幼稚園・保育園・認定こども園			
（就職指導内容） 業界主催の就職ガイダンスに参加・担任制による個別就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭・保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２５人	１人	４％
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 保護者への状況報告、担任・上長の面談、退学防止委員会の運営		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
看護	100,000 円	600,000 円	230,000 円	施設設備費
医療事務	100,000 円	600,000 円	230,000 円	施設設備費
介護福祉	100,000 円	600,000 円	250,000 円	施設設備費
福祉総合	100,000 円	600,000 円	220,000 円	施設設備費
こども	100,000 円	600,000 円	230,000 円	施設設備費
こども保育	100,000 円	600,000 円	230,000 円	施設設備費
修学支援（任意記載事項）				
特待生奨学金・家族割引奨学金・家賃支援・駐車場支援他				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.tbc-u.ac.jp/information.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
○調査項目：教育理念・目標、学校運営、教育活動、学習成果、学習支援、教育環境、学生の受入募集、財務、法令の遵守、社会貢献・地域貢献 ○委員会の構成：PTA、卒業生、町内会、関係施設、業界団体の分野から１名以上を専任 評価結果の活用：学校関係者評価委員会の前にあらかじめ自己評価を実施して各委員に配布し意見を集約。学校関係者評価委員会にて、自己評価と集約した意見に対しての改善方策を評価する		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社マーケットネットワーク 専務取締役	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	卒業生
寺町自治会　会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	町内会
みのりの会（PTA 保護者会） 会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	ＰＴＡ
一般社団法人栃木県情報サービス産業協会　理事	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
株式会社ティビィシィ・スキヤツト　部長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
バップエンタープライズ有限会社 代表	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
e スポーツとちぎ 代表	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体

栃木県よろず支援拠点 コーディネーター	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
宇都宮商工会議所 中小企業相談所長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
株式会社ティビィシィ・スキヤツト　課長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
栃木県防衛協会　副会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
北関東綜合警備保障株式会社 人事次長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
宇都宮観光コンベンション協会 事務局長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
株式会社国際ツーリストサロン 代表取締役	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
宇都宮市立保育園協会　会長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
社会福祉法人　白百合会 しらゆり幼児園	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
社会福祉法人　みゆきの杜 理事長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	業界団体
栃木県介護福祉士会　理事	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
医療法人　健真会 大島内科小児科医院　事務局長	令和３年４月１日～ 令和５年３月 31 日（2 年）	関係施設
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.tbc-u.ac.jp/information.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H109310000024
学校名	国際看護介護保育専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内訳	第Ⅰ区分	25人	23人	
	第Ⅱ区分	9人	6人	
	第Ⅲ区分	8人	8人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				44人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。